



平成 17年 11月17日

各 位

会 社 名 フジ日本精糖株式会社
 コード番号 2114 (東証2部)
 代 表 者 名 代表取締役社長 渡辺 彰三
 問 合 せ 先 常務取締役 江口 達夫
 TEL (03) 3667 - 7811

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月18日の決算発表及び平成17年7月28日の第1四半期決算発表時に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成18年3月期中間業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,900	100	100
今回修正予想(B)	5,990	154	93
増減額(B-A)	90	54	△7
増減率(%)	1.5	54.0	△7.0
【ご参考】 前期(平成17年3月中間期)実績	5,568	238	98

2. 平成18年3月期連結中間業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,000	100	100
今回修正予想(B)	6,503	149	5
増減額(B-A)	503	49	△95
増減率(%)	8.4	49.0	△95.0
【ご参考】 前期(平成17年3月中間期)実績	6,035	202	131

3. 平成18年3月期通期業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	11,900	390	280
今回修正予想(B)	11,500	300	280
増減額(B-A)	△400	△90	—
増減率(%)	△3.4	△23.1	—
【ご参考】 前期(平成17年3月期)実績	10,992	416	271

4. 平成18年3月期連結通期業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,000	400	300
今回修正予想(B)	12,000	300	200
増減額(B-A)	—	△ 100	△ 100
増減率(%)	—	△ 25.0	△ 33.3
【ご参考】 前期（平成17年3月期）実績	11,962	384	353

5. 修正の理由

①中間業績予想の修正理由

売上高は、食品物資事業が減少したものの精糖事業の増加により、1.5%の増収となりました。これにともない、経常利益も増加となっております。中間純利益は食品物資事業において舞茸部門が減損損失を計上した結果、減少となっております。

②連結中間業績予想の修正理由

売上高は、個別の理由の他に豪州の連結子会社の株式売却予定日が遅延し、その売上高を業績に取込んだことにより増加しました。経常利益は個別の理由と同様です。中間純利益は個別の理由の他に豪州の連結子会社において減損損失を計上したため、当初予想を大幅に下回りました。

6. 平成18年3月期通期業績見込について

①通期業績予想の修正理由

売上高は、精糖事業や食品物資事業の舞茸部門での売上数量減少により減収が見込まれます。経常利益は、原糖相場の上昇、為替相場の円安ドル高の影響で製造原価の上昇が見込まれますが、販売価格への転嫁が遅れており減少が見込まれます。当期純利益は、投資有価証券売却益等が見込まれ、予想どおりとなる見込みです。

②連結通期業績予想の修正理由

売上高は、個別が上記の理由にて減少するものの、中間連結決算にて豪州の連結子会社の売上高を取込んだことにより予想どおりとなる見込みです。経常利益は、個別と同様の理由で減少が見込れ、当期純利益は、個別とは別に連結税効果会計の影響で税金費用が増加するために減少が見込まれます。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上